

リコーグループは、 コメットサークルをコンセプトに 循環型社会の実現に貢献します。

将来に向けて持続可能な社会を創造して行くためには、最小の資源で最大の効果を生み出し、すべての経済・社会活動から発生する環境負荷の総量が、自然の回復力の範囲内に抑えられている「循環型社会」を実現する必要があります。コメットサークルは、循環型社会を表現したもので、リコーグループが取り組むべき活動やパートナーシップについての考え方が盛り込まれています。

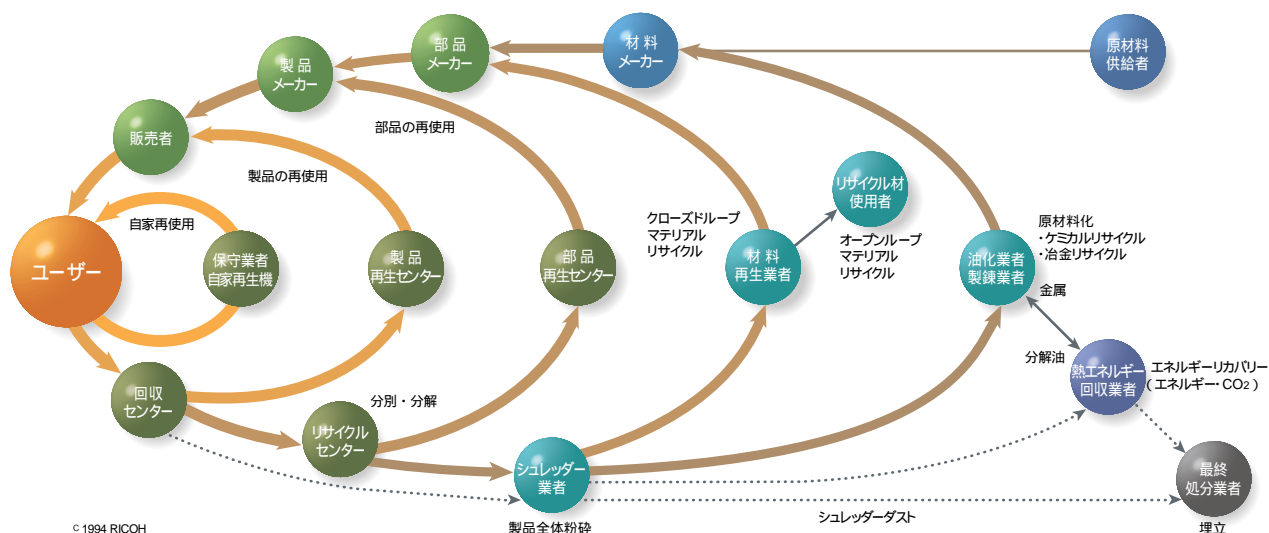
リコーグループは自社の環境経営を推進すると共に、仕入先様、お客様、リサイクル事業者様の環境経営実現のために積極的に働きかけ、コメットサークルに球体で示されたすべてのステージにおいて、より環境負荷が少なく、経済効率の高い活動が行えるよう取り組んでいます。また、経済・社会活動から発生する環境負荷の総量を削減するために、資源循環のループがより小さく、コメットサークルの内側に向かうよう努力しています。

コメットサークルが示しているのは、環境保全のためのコンセプトではありません。現在の世界においては、その製品がどういう物かだけでなく、どのような過程でつくられているのかが、購買や企業価値を決定する要因になってきています。リコーグループは、世界の生産拠点で、ものづくりだけでなく「人づくり」を行ってきました。また、仕入先様やリサイクル事業者様に対しても、業務改善・品質改善・環境保全といった視点での支援を行ってきました。今後も、豊かな社会づくりのために、コメットサークルの視点で、物の流れと各ステージでの活動を把握・改善し、社会的責任の視点に立った積極的な活動を進めて行きます。

コメットサークルの構成員は、リコーグループと仕入先様、お客様、リサイクル事業者様だけではありません。より豊かな循環型社会を実現するために、環境負荷の少ない買物をし、きちんとごみを分別し、社会を支えている人や、環境保全や社会的責任の視点で投資を行っている人たちも、コメットサークルの構成員なのです。たとえば、あなたが新しい服を買ったとします。それらの原材料は世界のどこから運ばれて来て、どんな工程でつくられたのでしょうか。そして、着なくなった服は、どのようにリサイクルされるのか、コメットサークルに当てはめて想像してみてください。

そしてコメットサークルを支えている最も偉大でかけがえのない構成員、それが私たちの母なる地球です。同じコメットサークルの中にあって、地球にダメージを与え続けたまま、私たちだけが繁栄し続けることはできないのです。

循環型社会実現のためのコンセプト「コメットサークル™」



© 1994 RICOH

1 全ステージでの環境負荷の把握と削減

循環型社会を実現するためには、コメットサークルに球体で示された各ステージや輸送工程での環境負荷を削減し、社会から発生する環境負荷の総量を最小限にしていく必要があります。そのため、リコーグループはもちろん、仕入先様、お客様、リサイクル事業者様など、すべてのステージおよび輸送段階で発生する環境負荷を「環境経営情報システム*1」によって把握し、環境技術の開発*2や世界各地で回収・リサイクルを推進*3することによって、環境負荷を削減します。

*1 23ページを参照。

*2 31ページを参照。

*3 50ページを参照。

2 内側ループのリサイクル優先

資源の経済的価値が最も高いのは、「製品としてお客様に使用していただいている状態」です。リコーグループは、使用済み製品を、再び経済価値の高い状態に戻すために必要な資源・コスト・エネルギーを最小にすることを目指し、コメットサークルの内側ループでのリユースやリサイクルを優先的に採用しています。

3 重層的リサイクルの推進

リサイクルを可能な限り繰り返し「重層的」に行うことにより、新たな資源の投入や、廃棄物の発生を抑制することができます。リコーグループは、自社製品のリサイクルを行うだけでなく、ペットボトルのリサイクル材をトナーカートリッジに採用するなど、他業界からの排出物も積極的に活用し、重層的リサイクルを推進しています。

4 経済効果の高いリサイクルへ

循環型社会を成立させるためには、通常の生産・販売と同様に、製品使用後においても「お金が物と逆方向」に流れる必要があります。リコーグループは、リサイクル対応設計を高度化させるとともに、リサイクル事業者様とのパートナーシップにより、経済合理性の高いリサイクルの仕組みづくりを推進しています。一方、2001年4月に日本で施行された「グリーン購入法」や、カナダのECPマーク*のように、環境負荷の少ない製品や企業活動を評価し、優先的に購入する社会システムが構築されることも重要です。 *41ページを参照。

5 すべてのステージとのパートナーシップ

製品メーカーであるリコーグループの努力だけでは、環境負荷の削減量も限られます。材料・部品メーカー様との協力による化学物質の使用量削減をはじめ、お客様に環境負荷の少ない製品をご利用いただくこと、あるいは負荷の少ない使い方を提案させていただくこと、製品や使用済み製品の輸送の効率化、リサイクル時の環境負荷やリサイクルコストの削減など、すべてのステージの方々とのパートナーシップにより、効果的な環境負荷削減を、経済合理性のある方法で実現していく必要があります。また、これらの活動を通じて得られた情報やノウハウを広く社会に発信して行くことで、社会全体の環境負荷削減に貢献して行きます。私たちは、情報の共有がパートナーシップのベースであり、情報の受け手となってくださるすべての方々をパートナーと考えています。